

泉南市人権保育・教育推進プラン（概要）

I はじめに

【現状と課題】 新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでのように人と人とのつながることができる機会、実際に体験や経験を積む機会が減少した。また、情報化社会の急速な発展により、インターネットによるコミュニケーションによって、人生が豊かになる一方で、その使い方や表現等によって、差別や人権侵害が多数起きていることを踏まえ、全ての人が加害者にも被害者にもならないような取組を進めていく必要がある。このような時代だからこそ、人と人との豊かにつながることによって全ての人が自分と他者の存在を認め合う人権文化の創造をまちづくりの視点で推進していくことが必要である。

【人権教育の意義】 様々な人と出会い、自らを見つめなおし、自分の生き方を豊かにしていくことを通して、日常生活の中にある人権問題や差別と向き合い、人権が確立された社会を、主体性を持って構築していくこと

【人権教育の目標】 自らの大切さとともに他者の大切さを認め、社会生活の中で実際に起きるあらゆる差別や人権侵害に対して、その解決に向けて行動し、人権尊重のまちづくりに主体的に参画する市民の育成

【計画の位置づけ】 泉南市人権保育・教育基本方針に基づき、人権施策の総合的推進の視点に立って推進していく計画

【計画期間】 令和6年度から令和10年度までの5年間（点検・総括を毎年度実施する）

II 基本理念（どのような市民に どのような子どもに）

- 自分を大切にする ～自己肯定感、自尊感情、自分って大切、自分らしさを大切に、自分を知る～
- 自分の考えを持つ ～自分で考えて判断する、正しい情報を知る～
- 主体性を持って行動する ～自己表現をする、伝える、寄り添う、頼る、相談する～
- ちがいを認め合う ～多様性・他者理解、相手の気持ちに気づき共感する、相手の立場に立つ～
- 人の痛みに気づき、おかしいと言える ～おかしいことをおかしいと感じ伝える～
- 夢や希望を持ってチャレンジする ～諦めない、失敗してもやり直せる、見通す、試行錯誤する～
- 人とつながり続ける ～人との出会い、つながりを大切にする～
- しなやかなからだをつくる ～様々な感覚を感じとる・最後までやり通す～

III 基本的考え方（どのような人権保育・教育を進めるのか）

- 全ての人の人権が尊重される人権保育・教育を推進
- 態度や行動に結びつく人権保育・教育を推進
- 生き方を豊かにする人権保育・教育を推進

IV 基本方向（取組をつくる）

1 人権が尊重される学校や社会の構築

- (1) 基本となる考え方を示す（条例、基本方針など）
- (2) 困っている人が相談できるシステム
- (3) 人権侵害を受けた人を救済するシステム
- (4) 人権侵害を防ぐ、見逃さない、人権保障のためのネットワーク
- (5) 行政等総合推進のためのネットワーク
- (6) 実態を把握するシステム
- (7) 情報宣伝・広報・周知システム
- (8) 人権尊重の地域社会づくりシステム
- (9) 人権に関する資料の収集提供システム
- (10) 一人ひとりが大切にされていると実感できる環境整備
- (11) 組織的に取り組むシステム

2 人権保育・教育の推進

- (1) 自分の思いが出せる・聞いてもらえる雰囲気づくり
- (2) こんな研修・講座を実施
- (3) 人材の活用
- (4) 大人と子どもがつながる
- (5) 市民と学校がつながる
- (6) 市民・保護者・子ども自身が企画する
- (7) 現実に起きている人権問題を踏まえた課題の共有・教材化
- (8) 子どもどうしがつながる～集団づくり・人間関係づくり～
- (9) 具体的なカリキュラム・教材づくり
- (10) こころとからだを視点においた取組
- (11) 人材の育成

3 子育て支援の推進

- (1) 保護者と子どもがつながる場
- (2) 保護者どうしがつながる場
- (3) 保護者向け講座
- (4) 市民全体で子育て
- (5) 保護者と関係機関のつながり
- (6) 現実に起きている課題を踏まえた課題の共有・教材化
- (7) 保護者自身が企画する
- (8) 将来の子育て参画に向けて